

## 市長あいさつ

本市は、阪神間の都市部にありながら、六甲山系や武庫川・夙川、甲子園浜・御前浜などの山・川・海といった豊かな自然に恵まれています。この恵まれた自然を次世代に残すため、私たちは2003年に環境学習を通じた持続可能なまちづくりを目指した「環境学習都市宣言」を行いました。

近年では、気候変動が一因と考えられる自然災害、プラスチックごみによる海洋汚染や生物多様性の損失など、地球規模で環境問題が深刻化しています。これらの問題を乗り越えていくために、これまで以上に環境に配慮した行動やライフスタイルの転換が求められています。

世界中が大きな転換点を迎える中、我が国は2050年カーボンニュートラルを表明し、持続可能な社会に向けて大きく舵を切っています。本市においても2021年に「2050年ゼロカーボンシティ」及び「プラスチックごみ削減運動の推進」を表明しました。

本市は阪神・淡路大震災を乗り越え、住みよいまちとして評価していただくまちなりましたが、これは先人たちの努力により自然環境や住環境が守られてきたことによる賜物です。

2023年度は、環境学習都市宣言20周年という節目の年でしたが、これまでの取り組みを振り返り、複雑化する様々な環境問題に適切に対応しこの先も西宮市を素晴らしいまちとして輝かせるため、「第3次西宮市環境基本計画」の改定を行いました。

今回の改定では環境問題を巡る国内外の動向への対応や環境学習のこれからの方向性などを盛り込み『人を育み、人が育む 環境学習都市・にしのみや』の実現に向け、あらゆる世代が環境学習・環境活動に取り組む「環境学習のバージョンアップ」を目指します。西宮の環境を、そして地球の未来を次世代に持続可能な状態で引き継いでいくため、市民・事業者の皆様との協働により今後も、環境学習を軸とした持続可能なまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、本計画の策定にあたりまして、環境審議会、環境計画推進パートナーシップ会議の委員の皆様、そして市民の皆様より、貴重なご意見をいただきましたことに対し、深く感謝申し上げます。



西宮市長  
石井登志郎

## 計画改定の背景

本市は、2005年の「新環境計画」(2005年度～2018年度)(以下前計画)策定以降、環境学習都市宣言の理念の下、「学びあい」と「参画と協働」を視点に、様々な環境施策を推進してきました。

市民・事業者・行政・専門家により構成された環境計画推進パートナーシップ会議では、計画全体の進捗管理や環境分野に応じた計画の策定などを行ってきました。

また、環境省の「こどもエコクラブ事業」の基本モデルとなったEWC事業<sup>\*1</sup>の充実や、環境学習サポートセンターなどの環境学習施設の整備・ネットワーク化を進めるなど、子どもから大人までの幅広い世代が日常生活の中で環境学習に取り組める仕組みを構築してきました。

さらに、持続可能な地域づくりを目指して、市内の各地域で自主的に設置されたエココミュニティ会議では、地域の環境特性に応じた様々な環境活動が展開されています。

この間の国内外の動向に目を向けると、東日本大震災を契機としたエネルギーの安全性や安定供給などの問題をはじめ、持続可能な開発目標(SDGs<sup>\*2</sup>)を掲げる「持続可能な開発のための2030アジェンダ」や脱炭素社会へ大きく舵を切った「パリ協定」の採択など大きな動きがありました。

2018年4月に閣議決定された国の第五次環境基本計画では、「今こそ新たな文明社会を目指し、大きく考え方を転換(パラダイムシフト)していく時に来ている」とし、SDGsの考え方を活用し、環境・経済・社会の統合的向上に向けた取り組みを進めることとしています。

本市においては、前計画策定以降、様々な環境施策の推進により、一定の成果を挙げてきましたが、こうした社会情勢の変化等により、温室効果ガスの排出量の増加や事業系ごみ排出量が増加傾向にあるなど新たな課題が生じています。

こうした課題を解決するため、前計画において積み重ねて

きた施策や地域活動を発展させ、「環境学習都市宣言」の理念の下、一人ひとりが将来世代の利益を考え、時代に応じた「学びあい」や「参画と協働」の仕組みを構築し、環境施策を推進していくため、2019年に「第3次西宮市環境基本計画」(2019～2028)を策定しました。

本計画は、これまで構築されてきた仕組みを生かし、さらなる市民・事業者の意識の変革を求めていくため、コラムやイラストを多用し、手に取りやすく、かつ分かりやすい冊子となることを心がけました。

また、前計画策定以降、環境分野に応じた個別計画が策定されてきていることから、計画の進捗状況の評価を実施し、実効性のある計画の進行管理を実現するため、目標ごとに個別計画と連携した数値目標を設定するなど、個別計画とのつながりを意識した計画としています。

しかし、本計画の策定以降も、環境問題を巡る情勢は大きく変化し続けています。国際社会全体で気候変動対策が求められる中、国の2050年カーボンニュートラルの表明やプラスチックごみによる世界規模の海洋汚染など新たな課題もより表面化してきています。

こうした状況の中、計画の中間改定年度にあたる2023年度は、これまでの取り組みの点検・評価を行うとともに、2021年に表明したゼロカーボンシティの実現に向けた目標設定や、より多くの世代が関わり、参加することができる環境学習の仕組みづくりについて検討を行いました。

美しい地球を次世代に引き継いでいくためには、あらゆる世代、主体が、人と人、人と自然との共生により、公正で平和な社会を築いていかなければなりません。これまでの市民・事業者・行政などすべての主体による連携・協働を発展させるとともに、すべての世代にわたる環境学習の推進により、一人ひとりの環境力を高め、持続可能なまちづくりを進めます。

<sup>\*1</sup>EWC事業については、P.39参照

<sup>\*2</sup>SDGsについては、P.22参照

## 西宮市環境学習都市宣言

いま、地球は危機に瀕しています。これまでの社会経済活動や私たち人間のくらしが、地球温暖化や砂漠化などの問題を引き起こし、自らの生存基盤でもある環境を脅かしています。

西宮市では、市民が主体となって、六甲山系の緑の山並み、武庫川・夙川などの美しい河川、大阪湾に残された貴重な甲子園浜・香櫨園浜をはじめとした豊かな自然を守るとともに、公害問題にも取り組むなど、良好な環境をもつ都市を目指してきました。また、阪神・淡路大震災の体験を通じて、自然の力の大きさとその中で生かされている私たちの存在を改めて学びました。

西宮の環境を、そして地球の未来を次世代に持続可能な状態で引き継いでいくためには、私たち一人ひとりが社会のありかたやくらしを見直さなければなりません。

環境学習とは、私たちのくらしが自然にどう支えられ、自然をどう利用してきたかを考え、環境に対する理解を深め、自然・歴史や文化・産業・伝統といった地域資源を活用しながら、地域や地球環境との望ましい関係を築いていくために学びあうことです。

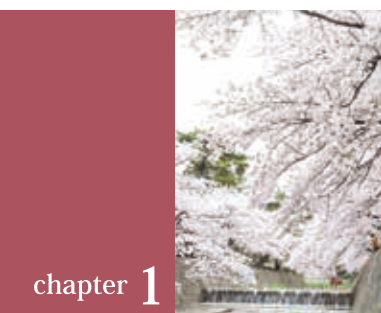
私たちは、世代を超えて、家庭・地域・学校・職場などの様々な場所で、市民・事業者・行政の協働によって、人と人との新しい交流を生み出し、環境学習活動を支えるしくみをつくっていきます。

西宮に住み、学び、働くすべての人々が、文教住宅都市宣言(1963年)、平和非核都市宣言(1983年)の精神とあゆみを再認識し、環境学習を軸とした21世紀の持続可能なまちづくりを進めることをここに宣言します。

## 行動憲章

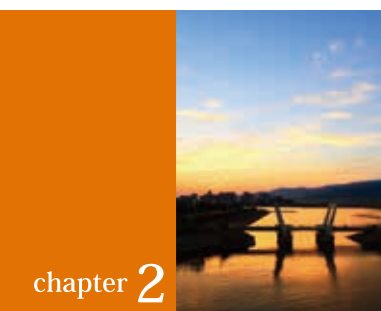
私たち西宮市民は、参画と協働の環境学習を通じて、21世紀の世界に誇ることのできる持続可能な都市を実現します。

1. 私たちは、自然のすばらしさを体験し、歴史、文化や産業と環境との関わりを学びあい、環境に配慮した行動を実践できる市民として育ちます。
2. 私たちは、市民・事業者・行政・各種団体・NPOなどとのパートナーシップの精神に基づいて、地域社会に根づいた環境活動を進めます。
3. 私たちは、くらしと社会を見直し、資源やエネルギーを大切にした循環型都市を築きます。
4. 私たちは、健康で文化的なくらしの中で、人と自然、人と人が共生する、公正で平和な社会を実現します。
5. 私たちは、すべての生物が共存できる豊かな地球環境を次世代に引き継ぐため、環境学習を通じ、世界の様々な地域の人々とのネットワークづくりを行います。



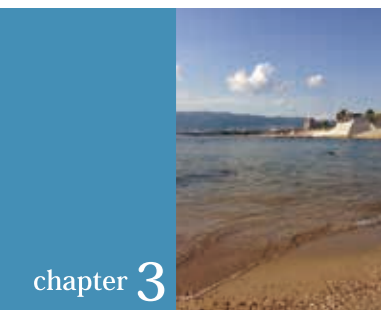
## 第1章 西宮市の目指す環境

- 1. 望ましい環境像 … 7
- 2. まちづくりの目標 … 8
- 3. 環境目標と行動目標 … 8



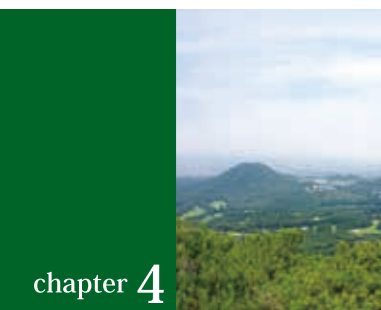
## 第2章 西宮の環境と歴史

- 1. 市民・事業者から見た西宮の環境 … 11
- 2. 西宮の自然環境 … 12
- 3. 西宮の環境の歩み … 14



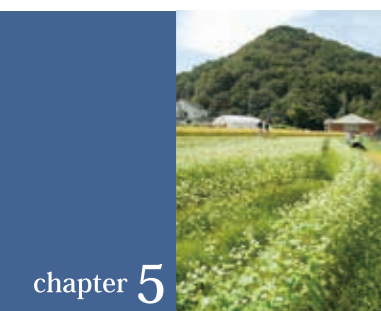
## 第3章 計画の位置づけ

- 1. 計画の位置づけ・役割 … 17
- 2. 計画の対象 … 17
- 3. 計画の期間 … 17



## 第4章 望ましい環境像の実現に向けた目標と取り組み

- 1. 施策体系 … 19
- 2. 環境学習の定義と各目標の基礎となる視点 … 20
- 3. 環境目標 … 23
- 4. 行動目標 … 38
- 5. あらゆる世代が参加できる環境学習の推進 … 46



## 第5章 計画の推進のために

- 1. 計画の進行体制 … 49
- 2. 進行管理 … 50
- 3. 情報公開 … 51



西宮市キャラクター「みやたん」と「みにゃっこ」

# Contents 目次

## 計画の構成図

第1章

### 望ましい環境像

『人を育み、人が育む 環境学習都市・にしのみや』  
～共生と循環のところで次代につなぐ 山のみどりとおおい海～

第1章

### まちづくりの目標

環境学習都市宣言

学びあい

参画・協働

循環

共生

ネットワーク

第3章

### 計画の対象

自然

まち・暮らし

人・文化

歴史・国際

### 計画の期間

10年間 2019年度～2028年度

第4章

### 望ましい環境像の実現に向けた 環境目標と行動目標

環境目標

ゼロカーボン

生物多様性

資源循環

安全・快適

行動目標

学びあい

参画・協働

国際交流・貢献

第5章

### 計画の進行体制

市民・事業者・行政のパートナーシップに基づく計画進行